

2020年7月16日

別海町長 曾根興三様

矢白別平和委員会 会長 上出雅彦

### 実動対抗演習期間中に起きた問題への然るべき対応を要請します

別海町と町民のため、日夜ご奮闘されていることに敬意を表します。

6月30日から7月8日までに行われた陸上自衛隊第7師団と同第9師団による実動対抗演習の期間中に次のような問題が起きました。

- 1、 7月7日午前7時過ぎ、法人「ピース矢白別」が所有する演習場内の2筆の土地を結ぶ生活道路上に約40人の自衛隊員がおり、中には座り込んだり横になっている隊員もいました。演習場とは区別され、現に民間人が行き来する生活道路をあたかも演習場そのもののようには使うことは問題です。
- 2、 7月8日午前4時ごろ、矢白別演習場内に住む浦舟三郎氏が砲声を聞きました。当人が自衛隊に確認したところ、105mm戦車砲（空砲）の射撃音とのことでした。射撃は午前8時30分より前には行わないことになっているにもかかわらず、そのようなことが行われたことは許しがたいことです。
- 3、 7月8日午後7時ごろ、別海市街のコープさっぽろ駐車場に10数台の自衛隊車両が駐車し、大勢の自衛隊員が買い物をしていました。ただでさえ自衛隊員が演習中に公用車を使って一般の人が出入りする店舗で買い物をすることは問題ですが、ましてや新型コロナウイルス感染の拡大が心配されるとき、このようなことはあってはならないと思います。

以上の問題について、別海町として、実動対抗演習を指揮監督した機関に対し、謝罪と再発防止の具体的方策を示すよう求めていると思います。

以上、要請いたします。